



夢を応援します

作品展に向けて子どもたちは毎日楽しく製作活動に励んでいます。今年度は、「大人になったら働きたいこと」というテーマで、子どもたちの将来の夢を作品で表現します。大人になった自分を思い浮かべながらいきいきとした表情で作品を作っています。では、みんなどんな夢を抱いているのでしょうか。子どもたちの夢を紹介しましょう。
(3歳以上児)

消防士 6	幼稚園の先生 4	ケーキ屋 4
警察官 3	美容師 3	アイスクリーム屋 3
花屋 2	動物の飼育員 2	クレープ屋 2
パティシエ 2	サッカー選手 1	宇宙飛行士 1
デザイナー 1	ガソリンスタンド 1	パン屋 1
バスの運転士 1	電車の運転士 1	船大工 1
漁網作り職人 1	宝石採掘工 1	恐竜学者 1
古生物学者 1	ペットショップ 1	
ユーチューバー 1	ウルトラマン 1	



どれも素敵な夢ですね。作品展では、作品を通して大人になって輝いている将来の子どもたちの姿が見られることと思います。

ところで、紛争が続くパレスチナのガザ地区。毎日死と直面し、怯えながら暮らしている中、夢を持ち続けている子どもたちもいるそうです。「お医者さんになってアフリカの子どもたちを救う」、「サッカー選手になる」。ただ、これらの夢には続きがありました。「大人になれたらね。」…これほど悲しい言葉は他にあるのでしょうか。大人になるまで生きていられるか分からないと思っているのです。子どもは大人になることを当たり前のことと思うはずですが、ガザ地区の子どもたちは、それすら脅かされ、夢や希望は気休めでしかないのかもしれない。

全世界の子どもたちが純真な夢をもち続けられるような社会になることを願うばかりです。

子どもたちの夢はこれから様々変わっていくことと思いますが、とりわけ AI の社会進出によりますます予測が難しくなりました。イギリスのオックスフォード大学、オズボーン准教授が、「AI の台頭により、10～20年後、現在の職業のおよそ半分がなくなる」と発表してから10年が経過しました。駅の自動改札、ガソリンのセルフが当たり前になり、スーパーではセルフレジ、レストランではロボットが給仕をする時代になってきました。アメリカのサンフランシスコではついに完全無人タクシーが走っているとか。これからさらに10年後、世の中はどこまで変わるのでしょう。町へ出て、いったい誰と挨拶をすればいいのでしょうかね。

AI はこれからも日々進化し続けるのでしょうが、これからの時代は AI を上手に活用しながら、最後はやはり人とのつながりを大事にし、世のため人のためになるような夢をもち続けてほしいと思います。近江商人の教え、「売り手よし、買い手よし、世間よし」の「三方よし」の理念は、自分の利益だけを優先してはいけません。代金を払ってもお客が喜び感謝してくれる、そして世の中全体がよりよくなる仕事をしなさいという教えです。子どもたちの描いている夢が社会をもっと明るくしてくれるよう、私たちも大いに応援します。(園長 寺本 明生)